

同志社大学 京田辺 CAMPUS

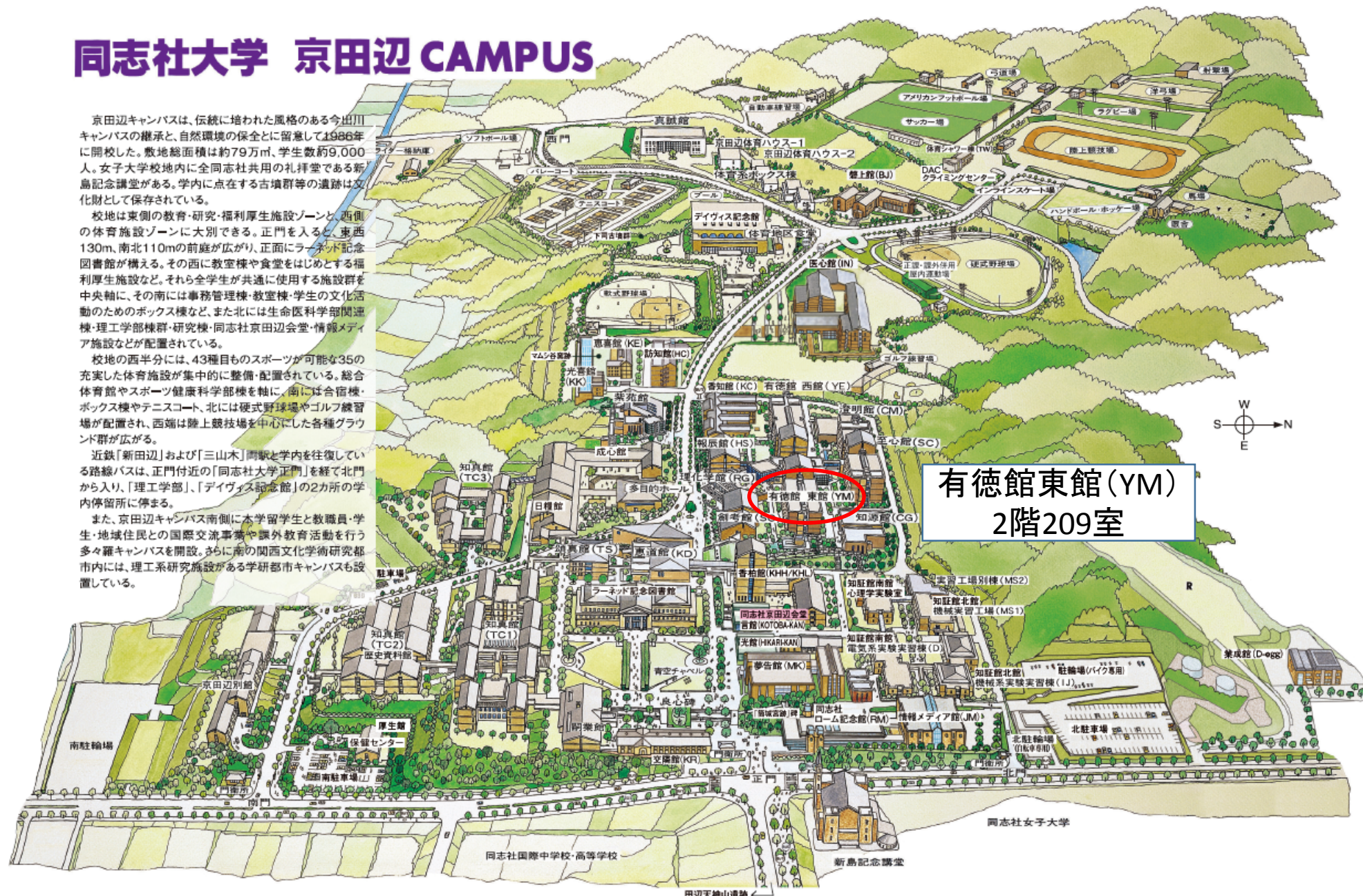
京田辺キャンパスは、伝統に培われた風格のある今出川キャンパスの継承と、自然環境の保全とに留意して1986年に開校した。敷地総面積は約79万㎡、学生数約9,000人。女子大学校地内に全同志社共用の礼拝堂である新島記念講堂がある。学内に点在する古墳群等の遺跡は文化財として保存されている。

校地は東側の教育・研究・福利厚生施設ゾーンと、西側の体育施設ゾーンに大別できる。正門を入ると、東西130m、南北110mの前庭が広がり、正面にラーネット記念図書館が構える。その西に教室棟や食堂をはじめとする福利厚生施設など、それら全学生が共通に使用する施設群を中央軸に、その南には事務管理棟・教室棟・学生の文化活動のためのボックス棟など、また北には生命医科学部関連棟・理工学部棟群・研究棟・同志社京田辺会堂・情報メディア施設などが配置されている。

校地の西半分には、43種目のスポーツが可能で35の充実した体育施設が集中的に整備・配置されている。総合体育館やスポーツ健康科学部棟を軸に、南には合宿棟・ボックス棟やテニスコート、北には硬式野球場やゴルフ練習場が配置され、西端は陸上競技場を中心とした各種グラウンド群が広がる。

近鉄「新田辺」および「三山木」両駅と学内を往復している路線バスは、正門付近の「同志社大学正門」を経て北門から入り、「理工学部」、「デイヴィス記念館」の2カ所の学内停留所に停車する。

また、京田辺キャンパス南側に本学留学生と教職員・学生・地域住民との国際交流事業や課外教育活動を行う多々羅キャンパスを開校。さらに南の関西文化学術研究都市内には、理工系研究施設がある学研都市キャンパスも設置している。



有徳館東館(YM)
2階209室